

## 追手門学院大学生がベトナムで2,000人にインタビュー 学生がベトナム「食」の市場調査、企業に施策提案

ベトナムで実施した実践型インターンシップに参加した追手門学院大学(大阪府茨木市、学長：川原俊明)の学生達が、日本食の「うどん」に関する市場調査結果をまとめ、10月14日、外食産業をメインとする大阪の会社に提案を行います。

提案を行うのは本年8月20日から14日間の日程でベトナムでの実践型インターンシップに参加した、本学1年生から3年生までの20人です。学生達は日本食のうどんをテーマに、ベトナム最大の都市ホーチミン市や首都ハノイ市でベトナム人約2,000人にインタビュー調査を行い、ハノイ市においては20代の約半数がうどんを知っていたものの、40代以上になると4人1人程度しかうどんを知らないことを明らかにしました。

10月14日はこうした市場調査の結果を報告するとともに、ベトナムでうどん店をオープンする場合に必要なと思われる認知度向上策などを提案します。

新興国ベトナムで様々な課題に取り組み、その中で失敗や成功体験を得てきた学生たちの成果報告会です。ぜひご取材くださいますようお願いいたします。



ベトナム語と英語で約2,000人にインタビュー

### 【ポイント】

- インターンシップには応募35人の中から選考された学生1年～3年生の20人が参加
- 日本食の「うどん」をテーマに約2,000人のベトナム人にインタビュー調査を実施
- インタビューによる市場調査の結果と認知度向上策を企業に報告および提案

### 【今回の実践型インターンシップとは】

プログラムのゴールは、企業が抱える課題を学生自らが現地調査のうえ解決策を提案するというもので、本学としてはその過程において、言葉や文化の異なる場所でも成果を出せるグローバルマインドセット「やりぬく力」を育成することを主眼としています。

### 【実施概要】

日時：2017年10月14日(土) 10:30～11:30

場所：株式会社フジオフードシステム 大阪本社(大阪市北区菅原町2-16 FUJIO BLDG.)

出席者：株式会社フジオフードシステム関係者、インターンシップ参加学生20人、本学川原学長

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】 追手門学院 広報課 TEL：072-641-9590 谷ノ内・足立